

新春企画

私的美術館展 - my collection -

2018年1月7日(日) - 2月11日(日) 10時-17時(最終日15時まで) 火・水曜休館 祝日開館

■入館料 一般：300円 シニア(70才以上)・障がい者：200円 学生(小学生~高校生)：150円



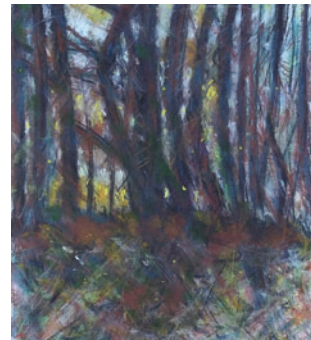
有元 利夫
MAGIC (マジック)より『古い部屋』
カラートグラフ 1981



古伊万里 染錦樽型水注
江戸時代/1700年代前期



オノデラ ユキ
Portrait of Second-hand Clothes No.3
photogravure 2008



Greg・Winder (グレッグ・ワインダー)
Forest
紙、パステル 1999

collector
杉村 俊明

この作品は、有元が1985年(S60)2月24日に亡くなる1年前、東京の某ギャラリーで購入。多くの作家・作品の中から、独特な造形力の人物がトランプを操り、不思議な空間世界に魅かれて選んだ。その後、調べてみると東京芸大デザイン科卒業後、大手広告会社に勤務の傍ら創作(絵画・立体)やフルートなど音楽をたしなむ。洋画界の登竜門である安井賞を若くして受賞。将来を囁望されたが38歳の若さであった。いままその画風にファンが多い。私は、毎年正月に飾る作品である。

collector
田中 俊一

京都の焼物の店で初めて目にした古伊万里の中皿に衝撃を受けたのが、古伊万里蒐集のきっかけでした。以来三十数年、気に入った品物を入手しながら、身近に置いて生活の中で楽しんできました。江戸時代初期に、国内で初めて生産された磁器古伊万里、造形の妙や機知に富んだ絵付けなど、当時の技術の高さや精神性の豊さを見い出していただけでしたら嬉しい限りです。

collector
馬場せい子

わたしには子どもの頃、姉がいました。病気で亡くなってしまったのですが、オノデラさんのこの2点の作品を見た時に、古びた女の子の服が、かつていた幼い姉妹を思わせて、とても心惹かれました。

collector
中村 勝美

ニュージーランド出身の画家・写真家20年ほど前、東京都檜原村の山奥に居住していた時に知り合い親しく往來していた隣人。彼の個展の会場ですいぶん迷った末に購入したのが「Forest」。秋の奥多摩の暗く深い森の中で、黄色く色づいた草木が光を受けて輝いたひとときを描いた作品。一見単調なテーマでありながら、複層的な色彩のあつかいと大胆な描法が印象的な作品である。

■古伊万里を中心に展示販売いたします
(会期中、心の花美術館にて)



ワークショップ 2018年1月13日(土) 午後1時~

お皿・そば猪口の絵付け体験を楽しもう! (定員10名)

予約制: 当館までお名前・当日の連絡先をお電話かメールをお願いします。

参加費: 大人: ¥1,000 中学生以下: ¥500 (お茶菓子付き)

講師: 田中 俊一

■座談会: 古伊万里のおはなし・なんでも相談!

■古伊万里の技法をお手本に自分だけの皿・そば猪口を作ろう。

(染付・吹き墨・印判など) 所要時間約2時間・延長OK

*参加者に抽選にて古伊万里をプレゼントいたします!

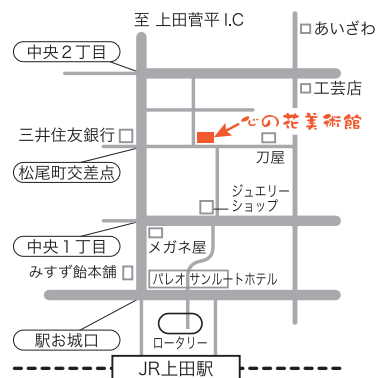
心の花美術館
art collection museum

〒386-0012 長野県上田市中央2-7-23

TEL/FAX: 0268-22-0022

HP: 心の花美術館(検索)でご覧頂けます

*イベント時は近隣有料駐車場をご利用下さい



●JR上田駅「お城口」より徒歩約5分
※当館専用駐車場2台あり